

② 介護保険関係施設事業所ネットワーク構築、施設での感染症予防についてWEB研修 高齢者施設・事業所を支援



市長は、「ネットワークを活用し、さまざまな問題に取り組んでいきたい」と述べた

10月26日と11月5日、高齢者施設での感染者発生を防ぐため、WEB研修を市保健センターで実施。介護保険関係施設事業所ネットワークを活用し、市内の高齢者施設・事業所がオンラインで参加しました。

倉敷中央病院臨床検査・感染症科医長で県クラスター対策専門家チームの上山伸也医師が、研究データを基に現在の国内感染状況や感染症の基礎知識を説明。高齢者施設においては、①持ち込まない、②広げない、③早期発見の3つが重要であると述べ、ポイントを絞った効率的な感染予防を呼び掛けました。

市は10月28日、高齢者施設間の情報共有や相互支援を目的に、市内全189の介護保険関係施設・事業所をつなぐネットワークを構築。11月5日、市保健センターで発足式を行いました。

式には、市内高齢者施設・事業所の関係者がオンラインを含め出席。ネットワーク代表幹事を務める医療法人行堂会介護老人保健施設ナーシングホーム大樹の横田修事務局長は、「コロナ禍の困難な状況下で、このようなネットワークができてうれしい。高齢者の安心安全な生活を継続するため、連携・協力していきたい」と述べました。



高齢者施設での感染予防対策を説明する上山医師

③ コロナ感染状況や基礎知識を説明 地域の関係者を集め緊急連絡会議



「コミュニティ地域づくり協議会の代表や民生委員、人権擁護委員らが出席した」

市内で感染者が確認されたことを受け、地域の関係者らを集め10月30日、総合福祉センターで緊急連絡会議を開催しました。会では、感染状況の概要を説明したのち、岡山大学大学院の頼藤貴志教授と吉備医師会の薬師寺泰匡医師が、新型コロナウイルスの基礎知識や注意点を解説。出席者からは、「今日得た知識を地域住民みんなに広めていきたい」、「正確な感染症予防を行っていききたい」などの意見が出ました。

発熱や咳などの症状が出た場合

無理をして学校や職場へ行かず、医療機関へ相談し診療・検査をしてもらいましょう

- ◎かかりつけ医がいる場合 かかりつけ医に電話相談しましょう
 - ◎かかりつけ医がいない場合 県ホームページで診療・検査医療機関を探るか、受診相談センターに電話して紹介を受けましょう
- 県ホームページ** <https://www.pref.okayama.jp/kinkyu/645925.html>
受診相談センター
 ・備中保健所 ☎086-434-7072、平日9:00～17:00
 ・岡山県一般相談窓口 ☎086-226-7877、24時間対応

新型コロナウイルス感染症対策

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎② 8259)

総社独自の緊急クラスター対策を実施

10月、市内の高齢者施設で新型コロナウイルスのクラスターが発生。11月13日までに、入所者や職員とその家族13人の感染が確認されています。これを受け市は、介護崩壊や人権侵害防止のため以

下の独自対策を実施しました。

同クラスター以外にも、市内で感染者が確認されています。今後も市民の皆さまには、誹謗中傷や人権侵害、感染拡大の防止にご協力をお願いします。

- ◆ **当該施設と入所者への支援**
 - ▼市・県・備中保健所が連携して、当該施設に対して感染防止策の研修やサービス継続を支援し、入院した入所者の退院時の受け入れ施設を確保する
- ◆ **施設職員の家族への支援**
 - ▼検査が陰性だった職員の家族が希望する場合、宿泊施設の提供・PCR検査の実施と費用負担を行う
- ◆ **市の対策について専門家と議論**
 - ▼感染症専門家会議を開催し、クラスターに対する今後の対応策について助言を得る
→詳細は①へ
- ◆ **市内の高齢者施設全体での感染拡大防止**
 - ▼市内49法人189の高齢者施設・事業所をつなぐネットワークを構築する
 - ▼市内高齢者施設・事業所に対し、感染予防WEB研修を実施する
→詳細は②へ
- ◆ **市民の安心安全の確保と人権侵害防止徹底**
 - ▼地域づくりコミュニティ協議会や民生委員らを集めた緊急会議を開催し、現状と感染症対策を説明する
→詳細は③へ

① 市内でのクラスター発生を受け 第4回感染症専門家会議を開催



市役所で行われた会議。オンライン参加を含め、15人の医療関係者が出席した

市内高齢者施設でのクラスター発生を受け10月25日、第4回総社市感染症専門家会議を開催しました。

会議では、クラスター発生事案の概要と市独自の対策を説明。今後クラスターが発生した場合の対応について専門家からは、「市内全ての高齢者施設の運営が止まらないよう、介護崩壊を防ぐことが大切」、「県・備中保健所との連携が必要」、「施設職員のため研修を実施し、応援体制を構築することが望ましい」などの意見が出されました。